

令和元年 三郷市都市計画マスタープラン 市民アンケート調査の結果（概要）

（調査の対象）

- ・ 令和元年 9 月 1 日現在（住民基本台帳）
- ・ 満18歳以上の市民、3,000人を無作為に抽出

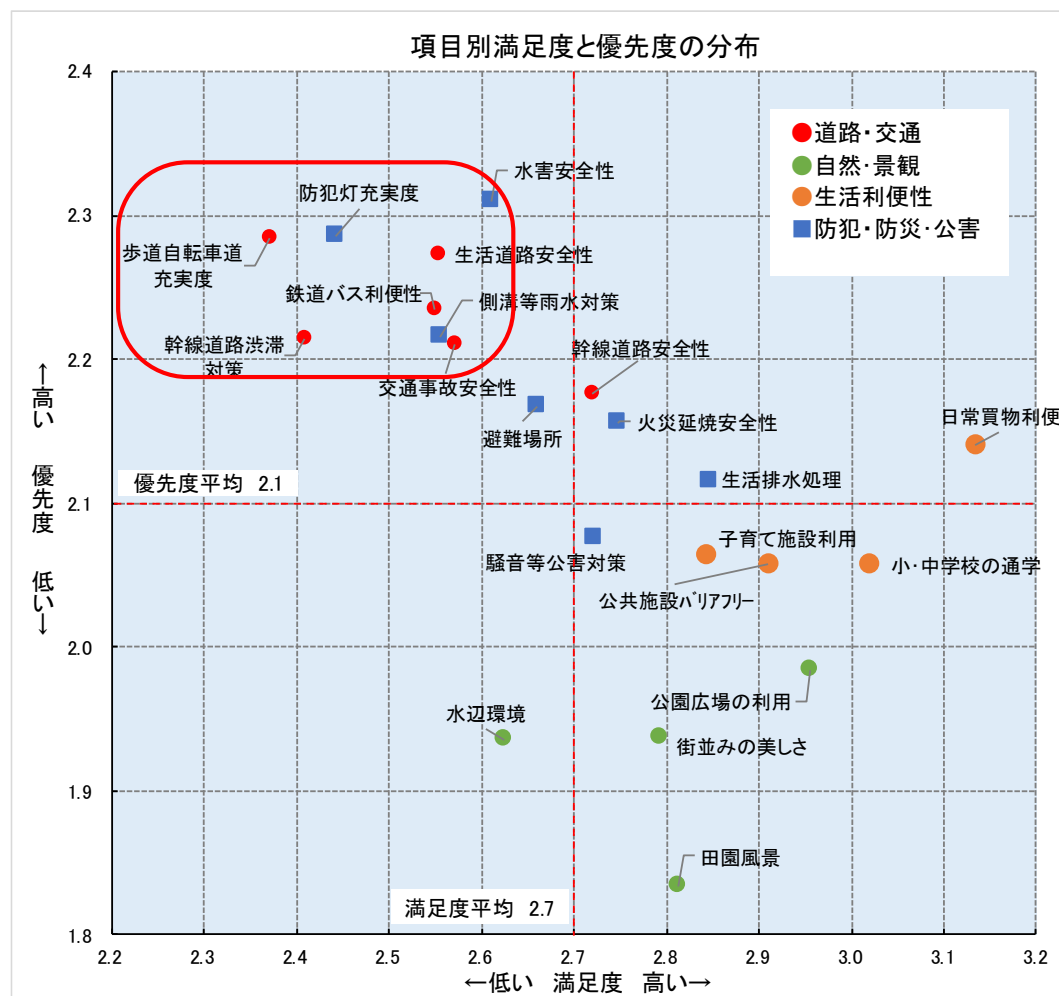
（調査の方法）

- ・ 配布、回収ともに郵送

配布日	令和元年10月5日（土）		
回収日	〃 10月18日（金）	アンケート票に記載した回収締切り日	
	〃 11月12日到着分まで	実質の回収締切り日	

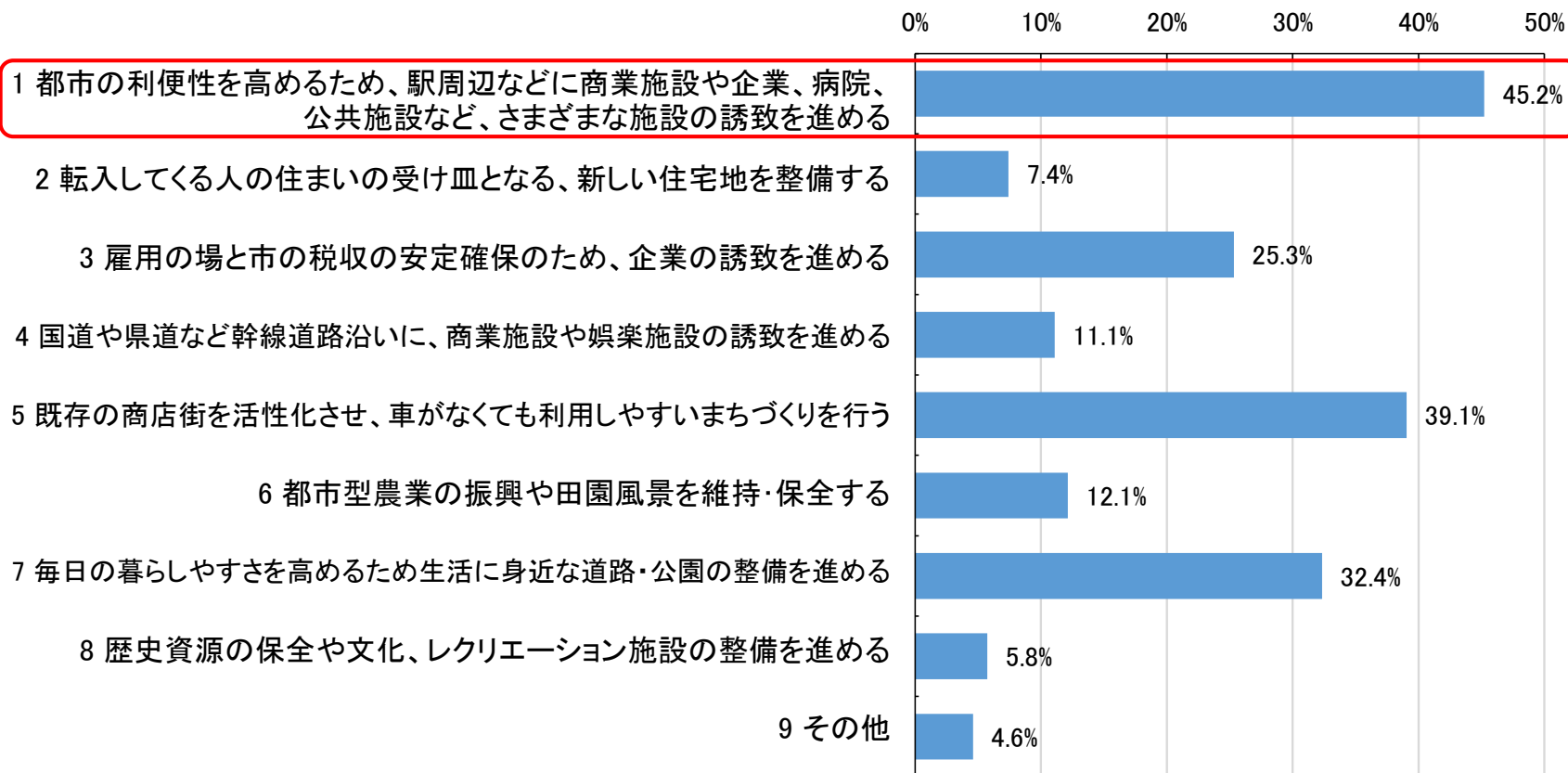
配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000件	972件	972件	32.4%

●身近な地域の生活環境への満足度と改善の優先度について



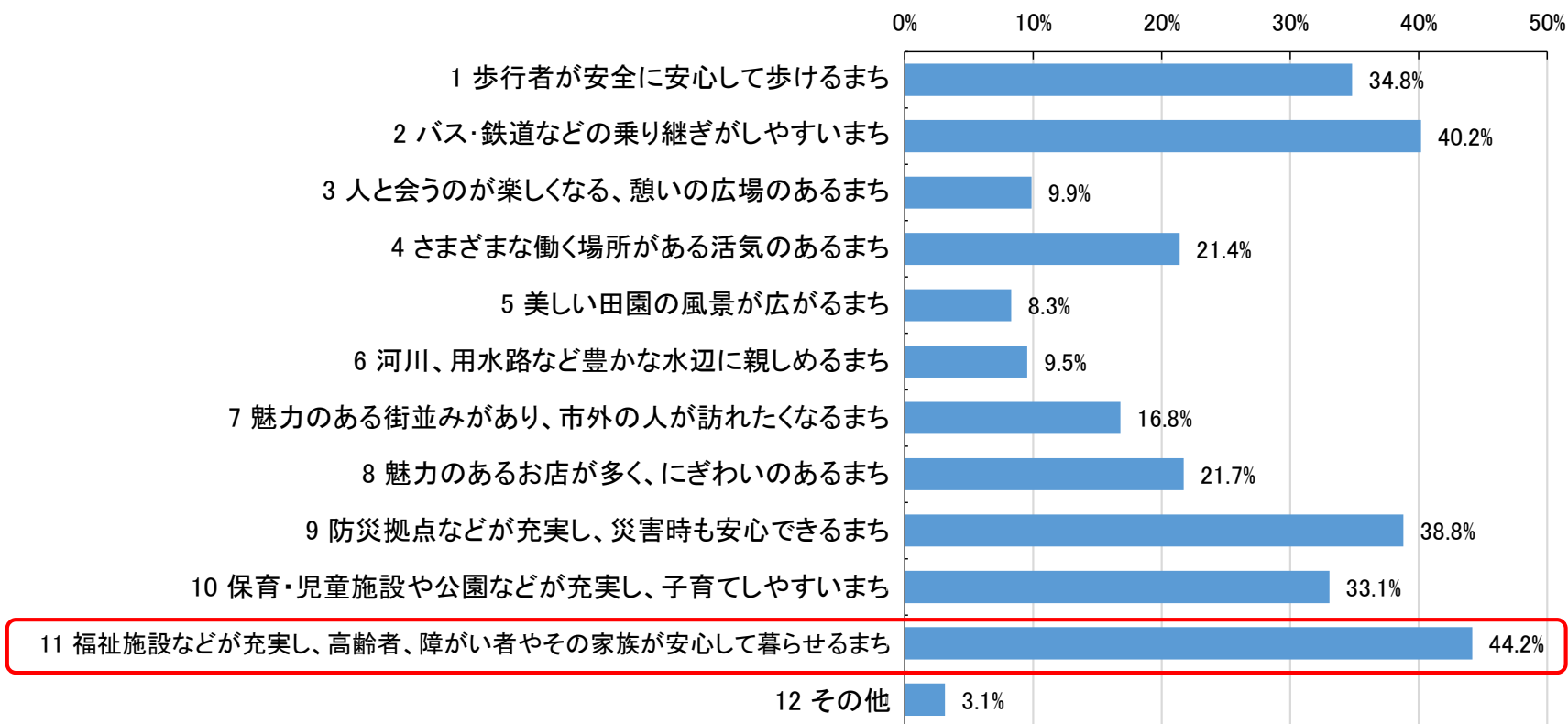
「歩行者自転車道充実度」、「防犯灯充実度」、「幹線道路渋滞対策」、「鉄道バス利便性」、「水害安全性」、「生活道路安全性」等について、満足度が低く、優先度が高いことから、適切に対応することが強く求められています。

●三郷市全体の土地利用を考えるにあたって、 望ましい取り組みについて(複数回答)



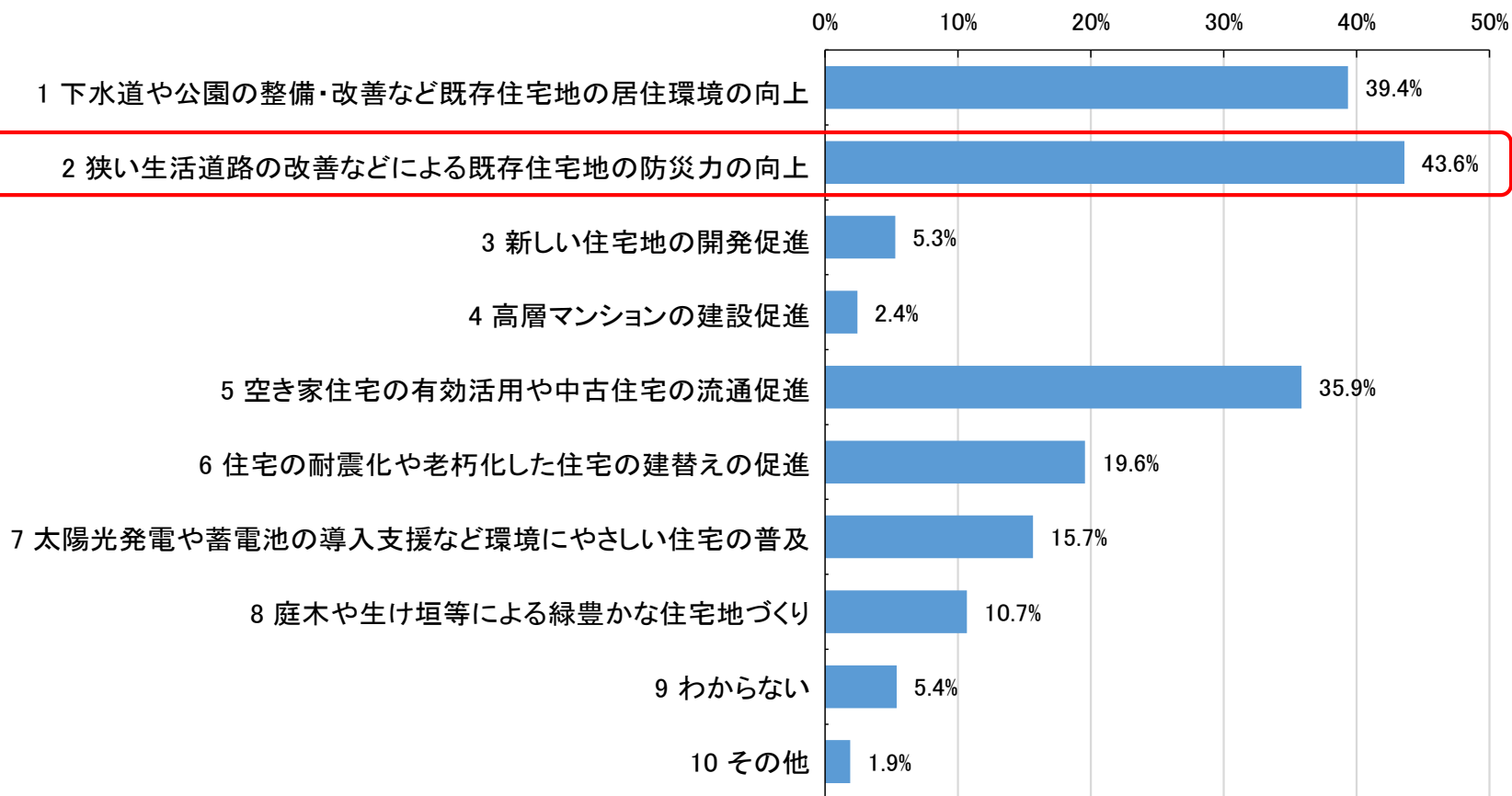
「駅周辺などにさまざまな施設の誘致を進める」が最も多く、以下「車がなくても利用しやすいまちづくりを行う」、「生活に身近な道路・公園の整備を進める」、「企業の誘致を進める」が続いています。

●魅力や特徴あるまちづくりを進める上で考えられる まちづくりのイメージについて(複数回答)



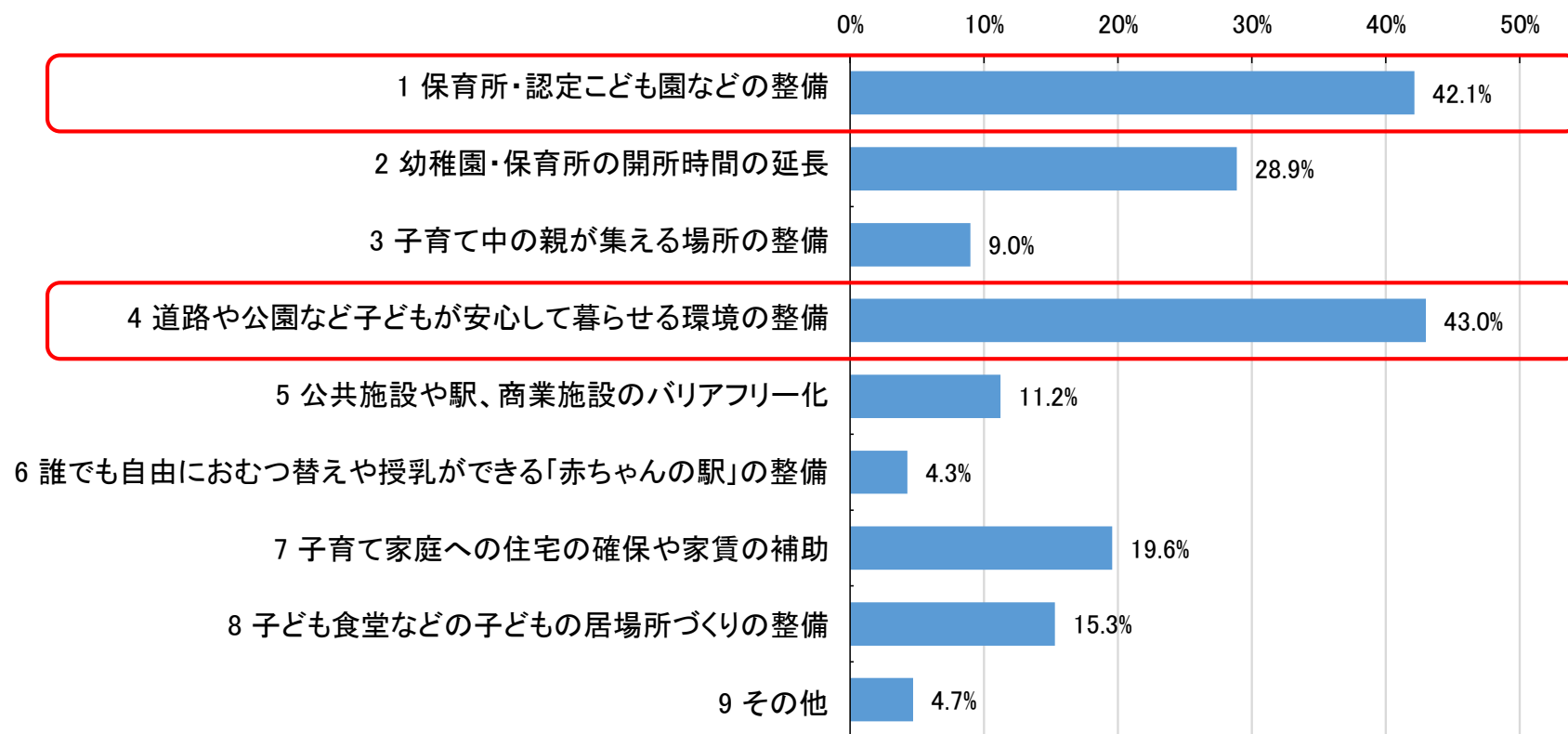
「高齢者、障がい者やその家族が安心して暮らせるまち」をはじめ福祉、交通便利、防災、安全な歩行空間、子育て環境を重視したまちづくりが望まれています。

●住宅地または個々の住宅について、今後力をいれていく必要がある取り組みについて(複数回答)



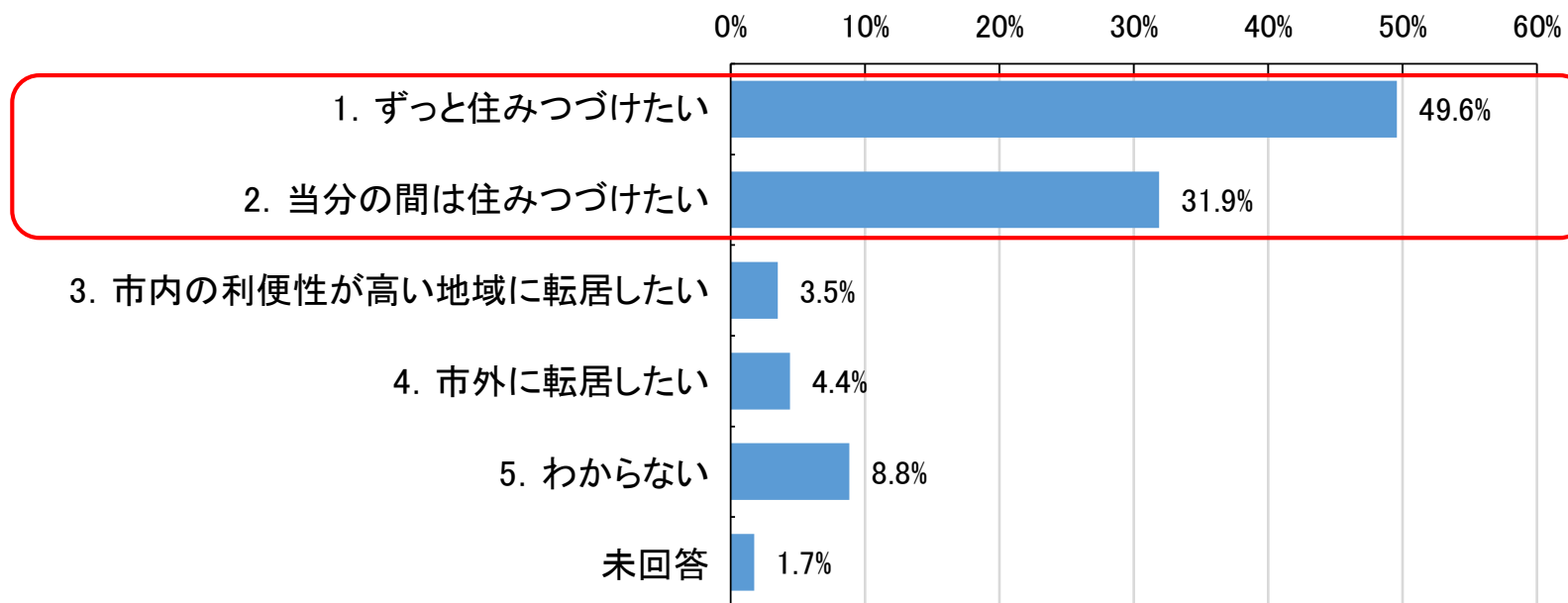
「既存住宅地の防災力の向上」、「既存住宅地の居住環境の向上」、「空き家住宅の有効活用や中古住宅の流通促進」の3項目が主な選択項目です。

●子育てしやすい環境を整備するために、今後力をいれていく必要がある取り組みについて(複数回答)



「子どもが安心して暮らせる環境の整備」43.0%が最も多く、ほぼこれに並んで「保育所・認定こども園などの整備」が選択されています。

●三郷市に住み続けることについて(単数回答)



「住み続けたい」と「当分の間は住み続けたい」の合計は、80.5%に達しています。